

手順 2

リフォーム事業者を決めましょう。

ここではたくさんの事業者の中から、まず候補を選ぶポイントを紹介し、続いて次のページでは、ひとつの業者に絞り込むポイントをご紹介します。

まず、始めに 候補を選びましょう (3~5社程度)

事業者候補を選ぶ5つのポイント。

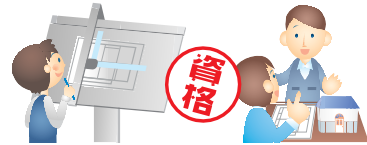
1 あなたの目指すリフォームに事業者の業務内容がマッチしているか。



2 経験豊富で実績がある事業者か。



3 建築士や増改築相談員などの資格者がいるか。



4 事業者団体などへの加盟や建設業許可等の状況。



5 自宅からあまり遠くない事業者か。(車で1時間以内が目安です。)



迷ったら

- 新築した際の設計者・工務店などに相談するのもよいでしょう。
- 同様のリフォームをしたご近所の方などの話が参考になる場合もあるでしょう。

リフォームネットによる事業者情報の提供・検索



事業者情報をチェックしたり、条件を決めて検索できます。

- 工事場所
- 業種
- 営業エリア
- 得意とする工事内容
- 所属団体
- 資格者の有無
- 建設業許可等の有無等



リフォームネットでは、事業者が自らその情報を公開するという趣旨から、事業者の申請にもとづいて登録し、その事業者情報を掲載しています。なお、登録申請にあたり、事業者共通の行動規範として住宅リフォーム推進協議会が定めた「住宅リフォーム事業者倫理憲章」遵守について同意を求めています。

◎リフォームネットの事業者情報は名簿でも確認できます。

全国の都道府県・市区町村の住宅関連部局、リフォーム相談窓口や消費生活センターの相談窓口などに配布された「住宅リフォーム支援者名簿」でも確認できます。

※詳しくは各相談窓口などへお問い合わせください。

住宅リフォーム事業者倫理憲章

良質な住宅ストック形成と美しい街並みの整備を通して、21世紀の豊かな文化の創造と社会の持続的発展の実現のため、住宅リフォーム産業に期待される社会的使命は大きい。住宅リフォーム推進協議会は、以下の「住宅リフォーム事業者倫理憲章」を定め、事業者への定着と事業環境の整備を推進する。この憲章は、住宅リフォームに関連する事業者が、その社会的使命に応え、それぞれの業態に応じて事業を適切に行う際の共通の行動規範となるものである。

1. 依頼主の期待に応え、住み心地や資産価値が最大となるよう努める。
2. 依頼主が適切な選択と判断ができるよう、常に正確な情報の提供に努める。
3. 見積りや契約等について誤解を生じないよう正確で分かりやすい書面により、適正な業務遂行に努める。
4. 依頼主にとってよき相談者となり、クレーム等に対して誠実な対応に努める。
5. 関係法令を遵守し、さらに高い品性とモラルの保持に努める。
6. 住まいの質の向上を目指し、専門知識の修得と技術・技能の研鑽に努める。
7. 依頼主の理解と協力を得て、健康で安全な生活環境の実現と、資源の有効利用等による地球環境保全への寄与に努める。